

## 「ダメ！」より「なぜ？」を考える

～人権感覚をみがくために～

2020年9月7日【月】14:00～16:00

渡辺 毅（穀雨企画室 代表）

はじめに ～『ダメ！』より『なぜ？』を考える』とは

Activity 1 「しょうがいしゃ」の表記のしかたは？

Activity 2 新語「○△□▽」誕生！

Activity 3 「人を傷つける」言葉を探してみる

Activity 4 「ダメ！」の「なぜ？」を再考する

■渡辺 毅（わたなべ・たけし）プロフィール

1965年生まれ。東京育ち。京都大学文学部哲学科（美学美術史学専攻）卒。劇団主宰者、雑誌記者、障害者団体サポートスタッフ等を経て、人権啓発NPO法人職員として人権ワークショップを多数手がける。

2010年、ワークショップ形式の人権講座・研修を企画・運営する「穀雨企画室」を設立。拠点とする京都府内だけでなく、大阪府、滋賀県、三重県、兵庫県、福井県、熊本県など各地で人権ワークショップを実施し、講演活動も精力的におこなっているほか、京都で観光を楽しみながら人権について学ぶ新たなスタイルの人権フィールドワークを提案し、各地から参加者を受け入れて「東山」「西陣」「京都御苑周辺」「伏見中書島」「太秦」「岡崎」等のコースを案内し、好評を博している。

部落解放運動の現場にも関わり、また、京都市内最大の在日コリアン集住地域で毎秋開催されている共生・協働のまつり「東九条マダン」では2017年まで長年にわたり事務局長を務めた。

熊本市人権啓発市民協議会の広報誌『ラブミンだより』にコラム「きづきの芽」を連載中。